

地域にふれて学び、共に歩む学校づくり
あわら市金津小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	8回(のべ) 8日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	35人
授業ボランティア(含:低ボラ)	116人
登下校支援ボランティア	80人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「 基本的な生活習慣の確立 」

《1・8・1運動の推進》

1 ねらい

児童が、自分の毎日の生活をふり返り、規則正しい生活習慣を身に付けること。

家庭と連携して、よりよい家庭生活のリズムの定着を図ること。



2 1・8・1運動について

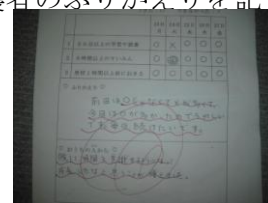
- ・①時間以上集中して家庭学習する。(1～3年・30分 4～6年・10分×学年)
- ・決まった時間帯に⑧時間程度睡眠をとる。(1～3年・9時間 4～6年・8時間)
- ・家を出る①時間前に起床する。

3 具体的取組

- ・生徒指導の基本方針の(1)～(7)の中で(5)組織的、計画的な取組を通して、基本的な生活習慣の育成を図ると明記し、年間生活目標と指導項目の中に位置づけた。
- ・学期ごとに1週間の期間で実施(5月・10月・1月)し、原則学期始めの月に実施することとした。
- ・「1・8・1運動カード」を配布して、保護者と共に取組の様子を振り返って、できたら○を、できなかったら×を記入した。また児童の反省と保護者のふりかえりを記入する欄を設けた。

4 児童と保護者のふりかえり

- ・この1週間だけでなく、毎日3つのことをきちんとやって習慣をつけたい。(3年児童)
- ・とてもよい目標ができました。頑張ってください。(3年保護者)
- ・時間を意識してできるようになって、成長したなと思うことが増えた。(5年保護者)



5 地域学校協議会より

- ・年間を通して、望ましい生活習慣の確立と将来にわたってそれが習慣化されるように家庭との連携の強化を図っていくことが大切である。

成果と課題

- ・児童は自分の生活をふり返る良い機会となっている。保護者の児童の生活習慣確立への意識も高まっている。
- ・学校評価における目標指数には、教師も児童、保護者共に達していないが、少しずつポイントは上がっている。社会環境やスポ少、習い事等が増え、家庭での時間が充分取れない状況がある。